

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあふれる時津小



令和5年4月11日（火） 発行人：校長 森内 秀学

ようこそ！51人の1年生

週末の雨風を耐え抜いた桜の花に迎えられ、51人の新1年生が、時津小学校に入学しました。よそ行きの服を着て、ぴよこんと立ってお辞儀する礼儀正しい姿はとてもかわいらしく、やっぱり子どもは宝だな、としみじみ思いました。

式の中では、子どもたちに対し、やる気を生み出す魔法の言葉「たい」のことについて話をしました。本誌の創刊号と関連した内容です。

保護者の方には、不安が不満にならないよう早めに相談いただくことで、共感し合い、信頼関係を築いていきましょう、という話をしました。そして、地域での活動を通して育まれる郷土愛や、生きる力の基盤（協調性、リーダーシップなど）は、人とのつながりの中で育つので、ぜひ教育活動にご協力ください、という話をしました。

これらは、新1年生だけでなく、学校全体として実践していきたい内容です。どうぞ、ご家庭でも話題にしていただき、実践に向けてご支援いただけたらと思います。



←学級に戻っても、担任の先生のお話をしっかり聞くことができました。
→保護者の方は、交通安全の留意点や立哨指導の旗振りのポイントについて説明を受けました。



外国語活動開始

入学式が終わった翌日、校舎をまわっていると4年生の学級からは、早速楽しそうに英語を話す声や、リズムに合わせて手拍子をする音が聞こえてきました。

指導をしているのは、英語教育に力を入れる時津町が、今年度から増員して任用したスティーブン先生です。ギター演奏を趣味にされているようで、手拍子に合わせることで、英語独特のアクセントを身に付けさせようと工夫していました。先生はほとんど英語で話しているのに、4年生の子どもに言いたいことが伝わっていく姿は、心が言葉を越えることを実感させてくれるものでした。今後も楽しみです。